

ほしぞらのたからもの

豊福 まきこ：作 / BL出版

ネコだけが住む村で、ネコは魚を食べてネズミを追いかけるものと思っていた主人公は、ある日仲間のネコらしくない「ふつう」を知ってびっくりします。仲間の「ふつう」は自分と違うらしい。主人公と一緒に「ふつう」とは何を考えてみませんか？



市民図書館所蔵

おすすめの**本**

それ犯罪です！
～知らないヤバい刑法の話～

松井 浩一郎・アトム法律事務所：著 / 祥伝社

自動販売機をたたいてジュースが出てきたら、犯罪になると思いますか？他人の自転車に間違っ乗ったら…。こんな身近な事例を通して、相手の気持ちや法律の大切さを優しく解説します。楽しく読んで、法律に詳しくなませんか。



県内の図書館の本を
近くの図書館(室)で借りられます

県立図書館と県内の市町村立図書館には、図書館ネットワークがあります。絶版や品切れなどで手に入らない図書を、所蔵している県内の図書館から取り寄せ、お近くの図書館(室)で借りることができます。

雑誌スポンサーになりませんか

最新号の雑誌のカバー表面にスポンサー名、裏面に広告を貼る、雑誌スポンサーを募集しています。図書館が選定した週刊誌など約200誌が対象で、期間は原則1年間です。

対 企業・商店・団体など(個人は対象外)

料 年間4,000円～2万円程度



詳しくは、
市民図書館☎をご覧になるか、
市民図書館☎(576-8241)へ。



あなたの作品が美術館に!?!
市民から愛される「市美展」とは。

現在大分市美術館では第60回大分市美術展を開催しています。一般から公募した作品を展示するいつもとはちょっと違う展覧会です。



6年度大分市長賞受賞作品▶



大分市美術展について
教えてください。

大分市美術展(市美展)は、昭和41年に開館した大分文化会館の落成を記念して開催されたことから始まり、今年で60回目の開催となります。昨年は504点(招待出品2点を含む)の作品を展示しました。日本画、洋画・版画、彫刻、工芸、デザイン、書、写真の7部門で募集していて、毎年約500点前後の作品が出品されます。

すごい作品数ですね、
審査などはあるのでしょうか。
県外の大学教授や美術館館長などの専門家が審査をして、「大分市

長賞」や「大分市議会議員賞」など全部で17の賞を決定します。また、「オーディエンスいいね!賞」という賞があり、これは観覧者の投票によって受賞者が決まります。

ほかに市美展の
特徴はありますか？
出品規格・規定を満たした作品は全て展示するようにしています。また、会期中は、大分市美術館が所蔵するコレクション展も無料で観覧できるので、ぜひ一緒に鑑賞していただきたいです。
(掲載写真は昨年度の会場の様子)

市美術館 ☎554-5800



女性差別を解消するのは…

大学受験を控えたぼくは、1つの不満を持っていた。ぼくが受験する理系の学部が、女子のみを対象とした枠の試験を実施するというのだ。そのことを担任の先生に話すと「気持ちは分かるけど、世界と比べて日本は理系を選ぶ女子が圧倒的に少ないんだ。どうしてだと思ってるの？」と聞くのです。「それは、女子は数学が苦手だからですよ」と、ぼくが反論すると、先生は「それって本当かなあ。そこに思い込みや偏見はないのかな？」と語りかけるように言うのだ。

モヤモヤしながら帰宅し、家族と食事をしながら、先生とのやり取りを話すと、父が思い出するように「なるほど…。父さんの会社でも数年前までは、管理職試験を受ける女性が少なくてね。その原因は、女性が積極的でないからだと考えて」と。ぼくは「そうだよ。だって男女関係なく試験は受けられるでしょ」と言うと、父は「確かにそうだけど、社員の人たちの意見を聞くうちに、会社のあり方にも課題があるんじゃないかって。それから、働き方を見直したり子育て支援を充実させたりしていったら女性の管理職も次第に増えていったんだ。つま

り…」と言いかけたとき、隣にいた姉が口を挟むように「女子は数学が苦手とか、女性は積極的じゃないとか、勝手に決めつけて、原因を女性側に求めているのが問題ってことでしょ」と言うのだ。そのとき、先生が言っていた「思い込みや偏見」という言葉を思い出したのだ。

続けて姉が「この前、女性の大学教授が『男性に生まれ変わったら、女性差別を受けることはないのにと昔は考えていたんだけど、そもそも女性差別は女性側の問題なのではなく、差別をする側の問題なんだ』って話していて、ハッとしたんだけど」と。ぼくは「うーん…。そうか、女性差別は、差別する側の問題ってことかあ。他の人権課題も同じ仕組みじゃないかな」と考えた。そして、いつの間にか不満の気持ちがスーッと晴れてる自分に気付いたのだ。

差別は「される側」ではなく「する側」の問題であるという認識に立ち、女性の人権課題など、あらゆる差別の解消に取り組むことが大切ではないでしょうか。※毎年3月8日は国際女性デーです。女性の権利向上や差別撤廃を促進する国際的な機会として位置付けられています。

編集担当より

今号では、在宅医療・在宅介護特集のため在宅医療を利用されているお宅に伺い取材させていただきました。

ベッドの横の壁には家族写真などさまざまな写真が飾ってあり、普段過ごす空間で利用者の方がリラックスして診察を受けているのが印象的でした。

生活をする中で、「医療」「介護」は誰もが必要になる可能性があります。そんなときに、自分らしく暮らす選択肢の一つとして在宅医療・在宅介護を考えてみるのもよいのではないのでしょうか。



市報クイズ

今年スケートボードパークが整備される府内町の公園は？

ヒントは、この市報の中にあります。

正解者の中から抽選で、市ブランド認証加工品「Oita Birth」から大葉を楽しむセットを3人にプレゼント！※当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

スマホはがき 右の二次元コードから応募してください。はがきに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、市報の感想を記入し、3月15日(日)〈消印有効〉までに広聴広報課(〒870-8504 荷揚町2-31 ☎537-5713)へ。



「青切符」が導入されます。